



としょかんゆうびん ようじむけ

れいわ3年
はる

あいおいしりつとしょかん ☎0791-23-5151



4・5・6月の行事

- ・体調がわるい人は行事に参加できません。
- ・手指のしょうどくとマスクの着用をおねがいでいます。

4/23 (金) 9:00~
本の福袋 20ふくろ限定
なかみがわからないように、
ふくろにつめた絵本を2さつ
セットでかたしします。

4/25 (日) 11:00~
おはなし会
えほん『ふしぎなたけのこ』
ほか
おはなし「すずめとからす」
ほか

6/12 (土) 14:00~15:30
シネマサロン
アニメ「ピーターパン」
原作『ピーターパンとウェン
ディ』J. M. バリー/作
先着30名まで。

6/13 (日) 11:00~
パネルシアター
『にじいろのさかな』ほか

4/24 (土) 14:00~15:30
シネマサロン
アニメ『ピノキオ』
原作『ピノッキオの冒険』
コッローディ/作
先着30名まで。

5/16 (日) 11:00~
おはなし会
えほん『かばくん』ほか
おはなし「ねずみの国」ほか

6/27 (日) 11:00~
おはなし会
えほん『ゆかいなかえる』ほか
おはなし「ライオンとやぎ」
ほか

4月

日	月	火	水	木	金	土
*	*	*	*	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	*

5月

日	月	火	水	木	金	土
*	*	*	*	*	*	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	*	*	*	*	*

6月

日	月	火	水	木	金	土
*	*	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	*	*	*

■おやすみ あいているじかん | あさ9:00~よる7:00



保護者の皆様へ

相生市にお住いの方なら、どなたでも貸出カードを作ることができます。

利用登録の際、貸出カードを作る方本人の身分証明書が必要です。

お子様の場合は保険証などをご持参ください。

ご不明の点がございましたら、相生市立図書館までお問い合わせください。



おひさまほかほか春ですよ



『のげしとおひさま』 甲斐信枝・作//福音館書店//P-カ

のげしは、かえる、あり、ちょうちょやてんとうむしのように、自由に動き回ることができないことを、とても残念に思っていました。のげしがおひさまに相談すると、おひさまは、陽の光を浴びていればいつかどこかへ行けると答えてくれます。

『ねむねむくんとねむねむさん』 片山令子・作 片山健・絵//のら書店//P-カ

ある日の朝、黒くて泥だらけの誰かが、茶色くてぼろぼろの誰かの家をたずねました。あまりに寒くて長い冬のせいで、二人は自分たちの名前を忘れてしまったようです。無事に思い出せるでしょうか。

『ぼとんぼとんはなんのおと』 神沢利子・作 平山英三・絵//福音館書店//P-カ

ほらあなのなかで、くまのお母さんと二匹のこぐまたちが冬ごもりをしています。春はまだ遠く、くまたちは眠っていました。そこに、外からさまざま音が聞こえてきます。だんだんと春が近づいてくる様子が、くり返しの親子の会話で描かれています。

『はなをくんくん』 ルース・クラウス・文 マーク・シーモント・絵

きじまはじめ・訳//福音館書店//P-ク

冬の森では、のねずみ、くま、かたつむり、りす、やまねずみが、みんな自分の巣の中で眠っていました。ある日、外から何かのにおいがきて、みんなは目を覚まします。そして、外に出て、においのする方へかけていくと…。

『よもぎだんご』 さとうわきこ・作//福音館書店//P-サ

ばばばあちゃんは、子どもたちといっしょによもぎだんごを作りにしました。まずはみんなでよもぎを取りに行きます。行ってみると、よもぎのほかにも、なずなやよめな、つくしなど、春の野草がたくさん生えていました。

『はるがきた』 ジーン・ジオン・文 マーガレット・ブロイ・グレアム・絵

こみやゆう・訳//主婦の友社//P-ジ

町の人々は、春が来るのを待っていました。しかし、暦の上ではもう春だというのに、町では春の気配を感じられません。そこで、一人の男の子が自分たちの手で町中を春にすることを思いつきます。人々も賛成し、さっそく実行に移しますが…。

『はるまでまってごらん』

ジョイス・デュンバー・文 スーザン・バーレイ・絵 角野栄子・訳//ほるぷ出版//P-デ

こうさぎのスマッジにはきょうだいがいません。お母さんに聞くと「春まで待ってごらん」と言われました。春はまだまだ先。スマッジは、葉っぱのついた小枝、雪、泥で弟妹うさぎをつくって春を待ちます。

『いちごばたけのちいさなおばあさん』

わたりむつこ・作 中谷千代子・絵//福音館書店//P-ワ

いちご畑の地面の下に、小さなおばあさんが住んでいました。おばあさんの仕事は、いちごの実に赤い色をつけることでした。ある年、春はまだ先だというのに、あたたかい雨の日が続いたことがありました。おばあさんが土の上に出てみると…。



雨の季節に読んでほしい本



『かさどろぼう』 シビル・ウェッタシンハ・作絵 いのくまようこ・訳//徳間書店//P-ウ

スリランカの小さな村に、キリ・ママというおじさんがいました。キリ・ママおじさんは町ではじめて傘を見て、とても便利なものだと思い、買って帰ることにしました。ところが、より道をしている間に傘がなくなってしまう。もういちど町へ買いに行きますが、より道をしている間にまた傘がなくなってしまう…。

『ゆかいなかえる』

ジュリエット・ケペシュ・文・絵 いしいももこ・訳//福音館書店//P-ケ

4ひきのかえるたちは、泳ぎの競争をしたり、かたつむりの隠しっこをしたりして楽しく遊んでいます。そこへ、サギやカメがかえるたちを食べようとやってきて…。かえるたちのゆかいな日常を、簡潔な文章で描いた小さな絵本です。

『はっぱのおうち』 征矢清・作 林明子・絵//福音館書店//P-ソ

さちが庭で遊んでいると、雨が降ってきました。そこで、葉っぱが屋根になっているところで雨宿りをすることに。するとそこには、先客のかまきりがいて…。

『いえでをしたてるてるぼうず』 にしまきかやこ・作//こぐま社//P-ニ

あるところに一軒の家がありました。よく晴れた日曜日、家族はお出かけをしたようで、家に残っているのは窓辺のてるてるぼうずだけです。おいてきぼりにされたことに腹を立てたてるてるぼうずは、家出をすることに。



ほかにもあるよ！ おすすめの本



『くわずにようぼう』 稲田和子・再話 赤羽末吉・画//福音館書店//P

むかし、とても欲張りな男がいました。男は、ご飯を食べずによく働く女房が欲しいと独り言を言いました。するとその夜、家に女が訪ねてきて、自分はおご飯を食べずによく働くので女房にしてほしいと言います。二人は一緒に暮らし始めますが…。端午の節句に読んでほしい昔話絵本です。

『わたしとあそんで』

マリー・ホール・エッツ・文・絵 よだじゅんいち・訳//福音館書店//P-エ
女の子は原っぱに行き、ばったやかえるなど見かけた生き物たちに一緒に遊ぼうと声をかけます。しかし、みんな逃げて行ってしまいます。女の子は落ち込み、石に静かにこしかけました。すると、逃げて行った生き物たちが戻ってきて、さらに…。

『おなべおなべにえたかな?』 こいでやすこ・作//福音館書店//P-コ

春のある日、きつねのきっこはいたちのちいとにいと一緒に、おおばあちゃんの家へ向かっていました。おおばあちゃんは、スープを作って待っていました。もうすぐできあがるという時に、からすがおおばあちゃんを訪ねてきて…。

『とんことり』 筒井頼子・作 林明子・絵//福音館書店//P-ツ

かなえは、両親と知らない町に引っ越してきました。片付けにつかれて座りこんでいると、玄関の方から「とんことり」という音が。見に行くと、郵便受けの下にすみれの花束が落ちていました。ドアを開けてみますが、そこには誰もいなくて…。

『まゆとうりんこ』 富安陽子・文 降矢なな・絵//福音館書店//P-ト

山の上にある家に、やまんばと娘のまゆが住んでいました。ある日、まゆは林の中で迷子になったうりんこのぼうやに出会います。まゆは、その子のお母さんが見つかるまでお世話をすることにします。

『そらいろのたね』 中川李枝子・作 大村百合子・絵//福音館書店//P-ナ

ゆうじが飛行機の模型で遊んでいると、きつねがやってきました。飛行機が欲しくなったきつねは、自分が持っているそらいろのたねと飛行機を交換しようとゆうじに言います。ゆうじはそらいろのたねを家に持ち帰り庭に埋めます。

『ぐるんぱのようちえん』 西内みなみ・作 堀内誠一・絵//福音館書店//P-ニ

ぐるんぱは、ひとりぼっちの大きなぞうです。ある日、ジャングルを出て働きに行かなければならなくなります。靴屋さんや自動車工場など、いろんな仕事をしてみますが、どれもうまくいきません。そんなとき、12人の子どもがいるお母さんから声をかけられて…。

『ふしぎなたけのこ』 松野正子・作 瀬川康男・絵//福音館書店//P-マ

むかし、山奥の村にたろという男の子がいました。たろはかあさんに言われて、たけのこを掘りに裏の竹やぶへ行きました。たけのこを掘っていると暑くなったので、たろは上着をぬいで、隣に生えているたけのこにかけました。すると…。

『くんちゃんのはじめてのがっこう』

ドロシー・マリノ・作 まさきりこ・訳//ペンギン社//P-マ
こぐまのくんちゃんは今日から学校へ通います。楽しみで仕方がないくんちゃんは、お母さんと学校へ向かいながら、見かけた動物たちに次々と声をかけます。しかし、学校に到着してお母さんが帰ってしまうと、急に不安な気持ちになり…。
4月から小学生になる子どもたちに、ぜひ読んであげてください。